

講師紹介 ※はゲスト講師 (ゲスト講師とは、エンジン01文化戦略会議の会員以外の講師です)



勝間和代
経済評論家

1968年東京生まれ。経済評論家。早稲田大学ファイナンスMBA、慶応大学商学部卒業。当時最年少の19歳で会計士補の資格を取得、大学在学中から監査法人に勤務。アーサー・アンダーセン、マッキンゼー、JPモルガンを経て独立。現在、株式会社監査と分析取締役、中央大学ビジネススクール客員教授として活躍中。著作多数、著作累計発行部数は500万部を超える。



小出譲治※
市原市長

1960年8月生まれ。昭和58年、家業のコイデ陸運働に入社し、平成7年に同社代表取締役就任。東京湾岸交通株式会社を設立。その後、市原ベイクタクシー(株)を設立し、トラック、バス、タクシーの3つの運送業の経営者として手腕を発揮する。平成15年、市原市議会議員に当選。3期12年にわたり市議会議員を務め、平成27年、市原市長に就任。「対話と連携」を市政運営の柱とし、現在3期目を務めている。



立川談慶
落語立川流真打ち

1965年11月16日長野県上田市生まれ。1988年慶応義塾大学経済学部卒業後、株式会社ワコールへ入社。1991年同社を退社し、立川談志門下へ入門。前座名「立川ワコール」。2000年二つ目昇進。談志により『立川談慶』と命名。2004年真打ち昇進。慶応大初の落語家として活躍中。



帝京平成スポーツアカデミー※
帝京平成大学 健康医療スポーツ学部

帝京平成大学千葉キャンパスとちはら台キャンパスを拠点に、学生・教職員と地域住民が一体となって運営する総合型地域スポーツクラブ。大学が保有する研究機関としての知財を活用し、幼児から高齢者を対象とする多様なスポーツ事業の展開を通じ、市原市並びに近隣地域のライフタイムスポーツの振興に貢献している。



野村万蔵
狂言師

1965年生まれ。野村万蔵家九代目当主。重要無形文化財総合指定。「萬狂言」「万蔵の会」を主宰。国内外にて公演を行い、新作の創作・演出も手掛け、流派を超えた「立合狂言会」を発足、南原清隆氏との「現代狂言」「古今狂言会」を催すなど、狂言の普及と発展に尽くしている。2022年「初世野村万蔵生誕三〇〇年祖先祭」にて文化庁芸術家大賞を受賞。NHK大河ドラマ「西郷どん」では三条美美を演じた。



南美希子
エッセイスト・TVコメンテーター

東京生まれ。元祖女子アナ。「OH!エルクラブ」などの司会やVERY「40歳からの子育て」の連載で熱烈な支持を集める。近年ではフジテレビ「バイキングMORE」コメンテーター、ニッポン放送「エンターテインメントネクスト」のパーソナリティを務めた。近著に「老けない人ほどよく喋る」。抗加齢医学会からアンチエイジングアンバサダーを任命されている。BS日テレ「妄想トレイン」では鉄道オタクの一面も披露。



和田秀樹
医師・日本映画監督協会理事

1960年大阪生まれ。東京大学医学部卒。東京大学医学部付属病院精神神経科助手、アメリカ、カール・メンninger精神医学国際フェローを経て、立命館大学生命科学部特任教授。07年映画初監督作品『受験のシンデレラ』でモノコ国際映画祭最優秀作品賞受賞。著書『80歳の壁』『70歳が老化の分かれ道』『医学部の大罪』『自分が高齢になるということ』『感情的にならない本』など多数。翻訳書『トラウマの精神分析』など。



久保明彦
株式会社Tag Japan 会長

世界最大の広告会社米国オグルヴィ・アンド・メイザー日本法人社長・会長などを歴任後、英国コンテンツプロダクション、タグワールドワイド日本代表に就任。2024年7月より会長を務める。戦略的マーケティング、多文化、多国籍コミュニケーションの専門家。米国ハーバード・ビジネススクールでAMP修了。米国ペンシルバニア州立ウォートン校「広告の将来」プロジェクト顧問、テンプル大日本校理事を務める。経済同友会会員。マラソン、トライアスロンを楽しむ。



小橋健司※
市原市埋蔵文化財調査センター 学芸員

1975年兵庫県生まれ。奈良大学文化財学科卒。日本考古学協会会員。平成9年から市学芸員として勤務する。専門は日本考古学で、弥生時代から古墳時代の土器と埴輪を研究。海保大塚古墳(姉崎古墳群)発掘調査のほか、山倉1号墳(国分寺台地区)の整理作業などを担当。市原歴史博物館の常設展示作成(弥生・古墳時代)に携わる。



千葉公慈※
東北福祉大学学長・宝林寺住職

市原市生まれ。いちはら観光大使。現在は里見家菩薩寺の住職、大学長、看護学校長、芹沢銈介美術工芸館長、大本山永平寺講師を務める。養老溪谷の地域おこし隊「いっぺあde溪谷」代表としても活動中。専門分野はインド・チベット仏教教理学で、近年は日本文化論を研究。著書に「知れば恐ろしい日本人の風習」(河出書房)、萩本欣一との共著「運がよくなる仏教の教え」(集英社)などがある。



新島卓矢※
体操競技パフォーマー(元日本代表体操選手)・One on One代表

体操歴20年。元日本代表体操選手。ユニバーシアード日本代表、団体優勝。W杯ドイツ大会、鉄棒3位入賞などOne on Oneパルク・アクロバット教室代表を務め、自身の教室の指導のかたから、学校などで「夢と経験」についての講演会を精力的に行っている。体操競技パフォーマーとして様々なCMなどでも活躍中。保健体育科教員免許、専修免許保有。



三浦瑠麗
国際政治学者・嶺山猫総合研究所代表

1980年10月神奈川県茅ヶ崎市生まれ。東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻博士課程修了、博士(法学)。東京大学政策ビジョン研究センター講師を経て、2019年より嶺山猫総合研究所代表。主要業績に、『シベリアの戦争』(岩波書店2012年)、『21世紀の戦争と平和』(新潮社、2019年)がある。専門は、戦争と平和に関する国際政治理論。フジサンケイグループ正論新風賞(2017年)など受賞多数。



茂木健一郎
脳科学者

1962年東京生まれ。ソニーコンピュータサイエンス研究所上席研究員。東京大学大学院特任教授。屋久島おおぞら高校校長。東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了、理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。脳活動からの意識の起源の究明に取り組む。05年『脳と妄想』で第4回小林秀雄賞受賞。近著に『クオリアと人工意識』。IKIGAIに関する英語著作が世界31ヶ国、29言語で翻訳出版。



和田裕美
作家・嶺HIROWA代表取締役

陽転思考、ファンづくりセールスなどビジネス書を中心に小説、絵本も手がける著書数70冊、累計240万部の作家。外資系企業にて「ファンづくりセールス」という独自のスタイルを確立。世界142か国中第2位の営業経験をもとに個人や1300社以上の企業様にて講演や研修などを実施。絵本「ぼくはちいさくてしろい」は18年から小1の道徳の教科書に掲載中。小説「タカラモノ」を23年に初舞台化し24年6月(東京)7月(大阪)と再演。